

西脇市議会  
議長 林 晴信 様

請願書 陳情書	受付第	3号
令和元年 8月 2日		
西脇市議会事務局		

## 令和2年度西脇市就学前教育・保育関係予算に対する要望書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、認定こども園の健全な運営のために、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年度に引き続き2回にわたる就職フェア開催等、認定こども園の保育教諭等人材確保にご支援をいただきお礼申し上げます。

我が国の少子高齢化の進行と共に、人口減少の時代に突入するなどこれまでの予想を超える厳しい状況にあり、少子化対策は、国や社会の存立基盤に大きな影響を及ぼす先送りのできない重要な課題となっています。

また、共働き家庭が増加し続ける一方で、仕事と子育ての両立が課題とされています。国の方では「働き方改革」が強く叫ばれていますが、子育て期にある三十代及び四十代の男性で長時間労働を行う者の割合も依然として高い水準にあり、就労の有無や状況にかかわらず、子育ての負担や不安、孤立感が高まっています。

利用児童も、核家族化の中での保護者の就労や、今年度10月に実施される国の3歳以上児の保育料無償化などの影響もあり、0～2歳児を中心に入園希望が大きく増加しています。近年児童虐待の発生や満足な食事も与えられない子どもの貧困化も見られ、非常に大きな社会問題にもなってきています。

西脇市においても、平成29年度より市内の全園が幼保連携型認定こども園に移行したのに伴い、教育委員会に幼保連携課が設置され、同課を通じて園と行政の円滑な連携が進めてられています。しかし、各園においては、依然職員確保、より安心・安全な園運営など問題は山積しています。

西脇市認定こども園経営協会は、より一層の使命と責任を果たす所存ですが、貴市の絶大な支援がなければ到底達成できません。

よって、令和2年度の予算編成を前にして、本会の総意に基づき、次の事項を要望いたします。

## 要 望 事 項

1. 令和元年 10 月からの 3 歳児以上保育料無償化に伴う副食費（給食費）の保護者負担について、無償化していただきたい。（加西市、三木市無償化予定）
2. 新卒・潜在保育教諭確保について、近隣の市町との処遇格差があり、法人独自の対応では、人員確保は困難になっています。この状況を打開するために、市独自の全ての園に共通する大幅な処遇改善を要望します。  
また、新卒者確保のための制度を創設していただきたい。
  - ・奨学金返還支援補助金
  - ・家賃補助
  - ・採用時支度金制度
  - ・定着支援金制度
3. 保育教諭の最低配置基準の国基準は、現在 0 歳児 3 : 1、1 歳児 6 : 1 となっていますが、市単独補助で 0 歳児 2 : 1、1 歳児 5 : 1 の配置基準にしていただきたい。